

平成27年7月30日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後1時30分
閉会 午後3時10分

2 出席委員

栗山	委員長
吉岡	委員長職務代理者
江口	委員
関	委員
竹岡	教育長

3 欠席委員

なし

4 出席事務局職員

木曾	教育部長
白波瀬	次長兼総括指導主事
山本	教育総務課長
吉村	学校教育課長
桂	社会教育課人権教育担当課長
大内	教育研究所長
永田	学校給食センター所長
内藤	図書館長
黒川	文化資料館長
林	教育総務課副課長兼総務係長事務取扱

5 傍聴者

なし

6 議事の概要

(1) 開会

○委員長が開会を宣言

(2) 前回会議録の承認

○平成27年6月24日定例会の会議録について承認した。

(3) 教育長の報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・市議会6月定例会が6月25日に閉会した。一般会計補正予算や条例制定等の議案はすべて承認され、また、人事案件として人権擁護委員1名、教育委員会委員1名の選任について同意された。
- ・亀岡市小中学校教務主任会が6月29日に行われ、新役員、活動方針及び活動計画が承認された。その後の研修会では、「教務主任に期待すること」をテーマに教育長が講話を行った。
- ・亀岡地区学校警察連絡協議会が6月30日に南丹高校で開催された。平成26年度事業報告、平成27年度新役員と事業計画が承認された。その後、亀岡警察署生活安全課少年係長から、「少年非行の現状とこれからの課題について」と題して講演が行われた。
- ・インターナショナル・セーフスクール（ISS）認証審査にかかる全体説明会が6月30日に行われた。7月1日の曾我部小学校の現地審査では、全学級で安全・安心をテーマとした公開授業、児童による取組報告、ISSの8つの指標に基づく発表などが行われた。7月3日の全体講評では審査員から高い評価を受け、ISS認証取得が内定した。
- ・関教育委員の任命辞令が7月1日に亀岡市長から交付された。
- ・亀岡市女性集会第1回実行委員会が7月1日に開催された。実行委員及び事務局職員の自己紹介の後、委員長等の役員が選出された。その後、開催概要と経過等について説明し、今後の計画等について協議を行った。
- ・第64回平和祭運営委員会が7月1日に開催された。担当課から行事計画の説明があり、特に花火大会の事故防止については詳細に確認された。
- ・地域こん談会が7月2日の篠町自治会からスタートした。台風11号の影響で8月6日まで延長して23自治会で開催される。
- ・亀岡市社会教育委員会議を7月2日に開催した。新委員に委嘱状を交付した後、亀岡市教育振興基本計画の概要、平成27年度の社会教育推進にかかる重点事業等について説明を行った。
- ・亀岡市学校保健会全体研修会及び部会が7月2日に開催され、平成27年度の活動方針や事業計画・予算などが承認された。研修会では、日本眼科医会常任理事柏井眞理子さんから「学校における色覚の対応について」と題して講演があった。
- ・亀岡市左官業協同組合の創立60周年記念式典・祝賀会が、7月4日に多数の関係者が出席して盛大に開催された。
- ・第4回校園長会議を7月7日に開催した。1学期末を控え、学習の締めくくりを確実に行うことをはじめ、学力向上の取組を推進すること、夏季を安全・安心に過ごすための指導や服務規律の確保の徹底等について指示を行った。続いて、6月市議会一般質問の答弁要旨や小中一貫教育に関する学校教育法の一部改正、ISS認証審査について説明した後、交通安全子供自転車京都府大会の結果、千代川小学校が11年連続全国大会に出場することを紹介した。その後、各課から学校規模適正化検討

会議の状況、平成27年度京都府学力診断テストの結果、色覚検査の実施等について報告した。

- ・ 7月8日に教育委員会委員による学校訪問を実施した。東別院小学校では登校の様子を見学した後、複式学級等の授業の様子を参観した。その後、校長から学校経営等について説明を受け懇談を行った。西別院小学校では複式学級等の授業の様子を参観した後、校長から学校経営等について説明を受け懇談を行った。その後、PTA役員と学校規模適正化などについて意見交換を行った。
- ・ 亀岡市就学指導委員会委員の辞令交付式を7月9日に開催し、36人に委嘱状を交付した。その後の総会では、平成27年度役員の選出、事業活動計画が承認され、研修会では、京都府総合教育センターの野田基子さんから「特別支援教育の充実と就学相談のあり方について」講演が行われた。
- ・ 亀岡市教育委員協議会点検・評価会議を7月15日に開催した。今年度から全事務事業を3カ年に分け、項目数を絞り込んで点検・評価を行うこととした。
- ・ 亀岡市学校安全対策会議を7月15日に開催した。通学路の安全対策や学校安全対策事業の取組結果、平成27年度実施予定事業について説明し協議を行った。各委員からは、安全・安心の取組などについて多くの意見があった。
- ・ 市立幼稚園・小学校・中学校の1学期終業式が7月17日に行われた。台風11号が接近していたことから、16日に校長が終業式用の講話を行うなど変則的な対応をとった。
- ・ 「夏の交通事故防止府民運動」にかかる街頭啓発活動を7月21日に実施した。交通死亡事故ゼロの日が630日を記録する中で、白バイやパトカーが多数集結して、亀岡警察署や交通安全対策協議会、学校関係者などで、国道9号を中心に安全運転の呼びかけを行った。
- ・ 小学校校長会からの教育内容や教育条件、教育環境等に関する要望事項について、7月21日に懇談を行った。
- ・ 「“ヒロシマ”に学ぶ親子平和の旅」が7月26日・27日に実施された。本年度は14組28人の親子が参加し、広島平和記念資料館を訪れるなど、命の大切さや平和の尊さを追体験することができた。
- ・ 五者合同研修会が7月26日に開催され、オープニングではマーチングバンド・ブルーエンジェルスが演奏を披露した。文部科学省中央教育審議会大学分科会委員、NHK経営委員で公立ほこだて未来大学教授の美馬のゆりさんが、「科学する心、未来を創る力」と題して講演され、その後「亀岡で育む21世紀型学力」というテーマでパネルディスカッションが行われた。
- ・ 交通安全子供自転車全国大会出場選手激励会を7月27日に開催した。京都府の代表として、11年連続全国大会に出場する千代川小学校の選手

4人を、教育委員会事務局全員で激励した。選手一人一人が力強く決意を述べた。

- ・1年間の任期を終えて帰国する二人のALTに感謝の気持ちを伝え、今後の活躍を願う送る式を7月27日に行った。

◎国・府等の関係

- ・「京都丹波トライアスロン大会 I N南丹」の開会式が7月4日に行われた。歓迎セレモニーでは、この大会に向けて結成されたチアダンスの演技、八木中学校吹奏楽部や丹波八坂太鼓保存会の演奏が披露された。開会式では大会会長等のあいさつ、来賓祝辞等の後、舞妓・芸妓によるおもてなしの舞が披露され、招待選手の紹介や競技説明が行われた。
- ・京都府都市教育長協議会の第1回例会が7月10日に宮津市で開催され、10月に開催予定の近畿都市教育長協議会研究協議会の内容について協議した。その後、総合教育会議の開催状況等について意見交換を行った。
- ・南丹教育局管内教育長会議と京都府教育委員会との懇談会が7月28日に行われた。管内教育長会議では、南丹教育局長のあいさつの後、学校教育・教育振興・社会教育担当の総括指導主事から所管事項の説明があった。また、学務課から平成28年度人事関係について説明を受けた。京都府教育委員会教育長、教育企画監等との懇談会では、学校・家庭・地域の連携、子どもの貧困対策、京都府教育振興プランの中間見直しについて説明を受けた後、意見交換を行った。

(4) 報告事項

- ①亀岡教職員組合2015年度統一要求書について
- ②平成27年度運動会・体育祭の日程及び出席者（案）について
- ③第59回企画展「戦後70年、あの時の亀岡」の開催について
- ④9月の教職員研修講座について
- ⑤サイフェンスフェスタのサイエンスボランティアの募集について

教育長の報告及び各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

<学校訪問について>

委員 全校児童が20数名の学校で複式学級の授業を参観し、このままにしておくのではなく何らかの手立ての必要性を強く感じた。学校規模適正化検討委員会の委員にも学校訪問の機会が必要と思う。

<教育長の報告について>

委員 7月の校園長会で説明された「夏の生活スタイル変革」の内容は

どのようなものか。

教育長 いわゆるサマータイムの導入で、官公庁で朝型勤務と早期退庁を実施しようとするものである。京都府教育委員会は府立学校への適用を見送ることとしており本市も見送ることとした。学校現場での適用はそぐわない部分が多く、慎重な取組を行っていく必要があると思っている。

委員長 小学校校長会役員とはこん談が行われているが、中学校校長会とは行っていないのか。

教育長 要望事項についてこん談しており、中学校とは行っていない。

委員長 亀岡市学校保健会は、どのような活動を行っているのか。

教育長 各学校には学校保健委員会が設置されており、子どもたちの健康の保持・増進などの取組を行っている。亀岡市全体の組織の取組として学校医や学校歯科医、養護教諭などの関係者で研修などを実施しており好評を得ている。

委員長 南丹教育局管内教育長会議で説明された、振り返りを確実にやりきる授業とはどのようなものか。

教育長 授業改善を進めていくためには、授業の目的を明確にし、子どもの学習活動の内容を仕組んだ授業計画を組み立て、最後に1時間の授業を振り返って終わることが大切になるということである。計画訪問などで実態を見てみると、振り返りまで行き着かない授業が行われているケースが多く、振り返りまで授業計画に組み込んでいけるよう対応していく必要がある。

委員長 実情としては、そうした意識付けを各担任まで伝えていくことが難しいのではないか。

教育長 学力向上担当者会議などの機会に、このような課題があることや対応について周知していくと聞いている。

<子どもの貧困対策について>

委員長 京都府教育委員会の貧困対策の取組はどうなっているのか。

教育長 京都府子どもの貧困対策推進計画に基づき、学習支援が必要な子どもへの学力保障の取組や福祉サイドとの連携などを進めるとともに、「京都式効果のある学校推進事業」の指定を府内4箇所で行っている。亀岡市では南桑中学校区が指定を受けており、小学校入学児童への学びスタート調査などに取り組んでいる。また、まなび・生活アドバイザー（SSW）の時間数を増やしたり、小学校へのスクールカウンセラー（SC）の配置なども行われている。

委員長 教育相談体制において、福祉関係からの関わりを充実するためまなび・生活アドバイザーの配置拡充が進められているが、教育に関わる部分の知識習得等の研修の必要性を感じている。

教育長 現場の状況も確認して、気になる部分等があれば京都府教育委

員会へ伝えておく。

<いじめ対応等について>

教育長 岩手県八戸町の中学2年生の自殺事件では、学校は6件の事象をいじめと認定する結果となった。これは、いじめへの認識が十分でなかったことや情報共有できていないこと、学校としての組織的な対応ができていないことなどが要因と考えられる。子どものSOSに敏感に気づく感覚を養うことや、いじめは法に基づいた対策となることを認識しておく必要がある。

委員 教職員の情報共有は、職員会議の最後に行くケースが多いと思うが、いじめ事象などに的確に対応していくためには、会議のやり方の工夫や見直しを考えていく必要がある。また、新たな業務への対応や負担の軽減を図るには、従来実施してきた取組や方法を考える時期に来ている。

委員 研究指定事業の実施においては、指導案や報告書の作成などに時間をとられることが多いと聞いている。また、新たな課題や業務に追われ子どもに向き合う時間が少なくなるなど、SOS信号を感じ取りにくくなっている。

教育長 教職員の事務量は増えていると思うが、校務用パソコンの整備や支援員の配置など教育環境の改善も進めてきており、学校現場でも会議の縮減や工夫などを行っている。事が起これば報告は求めていかねばならないし、研究指定に伴う事務処理についても当然対応していかねばならない業務と考えている。

委員 情報の共有化は大切なことだが、反面、だれも責任を取らないことにつながりかねない危険性もある。

教育長 組織として対応する視点が大切になる。情報をもとに役割分担を指示するなどマネジメントは校長の責務である。岩手県では、いじめ調査の重大事案は報告件数がなく、認識という面で甘い部分があったのかもしれない。

委員長 いじめ報告は、全国的な統一基準で対応していく必要がある。また、各学校の教育相談主任は、事案に対するコーディネーター役が務められるよう心がけていかなければならない。

委員 管理職は、問題事象等の対応に大きな役割を担うこととなるが、今年は何人くらいが管理職試験を受けることができるのか。

教育長 南丹管内で校長・教頭とも30人程度が受けると思うが、名簿登載者が多く枠がないので厳しい状況にある。

委員長 SOSを出さない子ども、出せない子どもへの対応が難しい。

委員 学校以外にも相談できる機関等があることを、子どもに教えておくことも大切なことである。

委員 岩手県の取組でも、子どもと先生のノートのやり取りができているところは良い方法だと思う。

教育長 方法としては良くても、それから気づきや情報共有につなげて
いけなかったことが課題である。

(5) その他

- ①小学校校長会・中学校校長会との懇談会の日程について
- ②平成27年度市町村教育委員会研究協議会の開催について
- ③平成27年9月亀岡市議会定例会日程(案)について
- ④次回教育委員会等の日程について

次回の教育委員会を平成27年8月24日に開催することとした。

(6) 閉会

委員長が閉会を宣言。

以 上